
Linux 日本語版対応 Omni Driver Install Guide(Ver0.7.3)

IBM 557x / IBM 558x / IBM InfoPrint / IBM NetWorkPrinter 用プリンター・ドライバー

2003 年 06 月

このファイルでは、IBM 557x / IBM 558x / IBM InfoPrint / IBM NetWorkPrinter 用 Omni ドライバーを Linux(日本語版)上でご利用頂くための設定手順をご説明いたします。なお、本ファイルは無保証となり、適合性等による障害に関する保証は行いませんのであらかじめご了承頂きますよう宜しくお願いいたします。

このファイルに記述されている内容は、以下の通りです。

1. はじめに
 - 1.1 適合機種
 - 1.2 パッケージ入手先と種類
 - 1.3 動作環境
 - 1.4 ご使用の条件

2. プリンター・ドライバーのインストール方法
 - 2.1 注意事項
 - 2.2 インストール方法

3. Filter を利用した印刷方法
 - 3.1 Filter の作成
 - 3.2 印刷方法

4. Filter の設定
 - 4.1 プリンター・ドライバーの選択
 - 4.2 用紙サイズの設定

1.はじめに

1.1 適合機種

本ドライバーが対応する機種を以下にまとめます。

IBM 5183 Portable Printer

IBM 5577-H02

IBM 5584-G02

IBM 5584-H02

IBM 5584-K02

IBM 5584-K14

IBM 5585-H01

IBM 5586-H02

IBM 5587-H01/G01

IBM 5587-K02

IBM 5587-L02(5587-L20)

IBM 5588-H02

IBM 5589-H01

IBM 5589-K20

IBM 5589-L36

IBM InfoPrint20

IBM InfoPrint2085

IBM InfoPrint21

IBM InfoPrint2105

IBM InfoPrint32

IBM InfoPrint40

IBM InfoPrint70

IBM NetWorkPrinter12

IBM NetWorkPrinter17

IBM NetWorkPrinter24

1.2 パッケージの入手先と種類

1.2.1 以下の URL より、Omni ドライバーが入手可能です。現在の Linux 環境に合った Omni ドライバーを入手します。

1. <http://oss.software.ibm.com/developer/opensource/linux/projects/omni/> にアクセスします。

2. Download OMNI の Source Forge より、Omni ドライバーを入手します。

1.2.2 上記 WEB 上より、配布されているパッケージの種類は下記のとおりです。

rpm パッケージ (xxx は Omni ドライバーのバージョン数値)

Omni-x.x.x.i386.rpm

Omni-cups-x.x.x.i386.rpm

Omni-foomatic-x.x.x.i386.rpm

tgz パッケージ (xxx は Omni ドライバーのバージョン数値)

Omni-x.x.x.tar.gz

*今回の説明では Ver0.7.3 を使用しました。

1.3 動作環境

本プリンター・ドライバー (Ver0.7.3) は以下の環境での動作が確認されています。

レッドハット社販売の RedHat Linux 8 日本語版

レッドハット社販売の RedHat Linux 9 日本語版

1.4 ご使用の条件

上記の適合機種は、Omni ドライバー Version0.7.3 以降からの対応となります。
また、今回使用した GostSucript は Version7.05 を使用しております。

=====

2. プリンター・ドライバーのインストール方法

2.1 注意事項

【重要】558x, 557x プリンターをサポートしているのは、Omni-0.7.3 以降からとなります。

本プリンター・ドライバーのインストール方法をこれからご説明いたしますが、この方法は、お客様の Linux 環境によっては操作方法が異なる場合があります。今回の作業は、インストール CD より全てのパッケージをインストールした場合の作業手順となります。

また、最新版ドライバーのインストールの際には、依存性の問題でご利用頂けない場合もございます。

この場合には、依存性のエラーをご確認して頂き、適したパッケージのバージョンアップが必要となります。

2.2 インストール方法

2.2.1 <rpm パッケージを使ったプリンター・ドライバーのインストール方法>

1. [1.2 パッケージの入手先と種類]より下記の rpm パッケージを入手します。
(xxx は Omni ドライバーのバージョン数値)

```
Omni-x.x.x.i386.rpm  
Omni-cups-x.x.x.i386.rpm  
Omni-foomatic-x.x.x.i386.rpm
```

2. 保存先に移動し、下記のコマンドを実行します。

```
# rpm -ivh ./*
```

注) 依存性のエラーが出た場合には "-Uvh" に変更してください。

3. /usr/share/cups/model/foomatic 内に新規で Omni ドライバーが作成されます。
4. 次に、[2.2.3]の作業へ移ってください。

2.2.2 <tgz パッケージを使ったプリンター・ドライバーのインストール方法>

1. [1.2 パッケージの入手先と種類]より、下記の tar.gz パッケージを入手します。

Omni-x.x.x.tar.gz (xxx は Omni ドライバーのバージョン数値)

2. /usr/src/redhat/SOURCES に保存し、下記のコマンドを実行します。

```
# tar -xvzf ファイル.tar.gz
```

3. /usr/src/redhat/SOURCES 内に、Omni フォルダが作成されます。

4. /usr/src/redhat/SOURCES/Omni に移動し、
Omni.spec ファイルを /usr/src/redhat/SPECS へ移動します。

```
/usr/src/redhat/SOURCES/Omni/RedHat/Omni.spec  
/usr/src/redhat/SPECS/Omni.spec
```

5. /usr/src/redhat/SPECS に移動し、下記のコマンドを実行します。

```
# rpmbuild -bb Omni.spec
```

6. /usr/src/redhat/RPMS/i386 に rpm パッケージが作成されますので、[2.2.1]と同様な作業を行います。

注). ご利用頂いている環境によりましては、上記作業に要する時間が約 5 時間程かかる場合もございます。

2.2.3 <インストール後の作業>

1. 正しくインストールされているか確認するため、「# lpinfo -m | grep IBM」とコマンド入力します。

2. 新規でインストールされた Omni ドライバーの一覧が表示されます。

IBM-IBM_xxx_xxx-omni-cups.ppd.gz (xxx はプリンタの型番)

注)、 「lpinfo:Unable to connect to server : Connection refused」と表示された場合、CUPS を起動します。「# /etc/init.d/cups restart」

3. 新規で作成された Omni ドライバー (557x、558x、Info、NetWorkPrinter) が表示されれば、インストール作業は完了です。

3. プリンター・ドライバーの印刷方法

3.1 Filter を利用した印刷方法

1. GhostScript でデータを処理するためのフィルターを作成します。
なお、フィルター名および保存先は任意で作成されてください。
2. 例としまして、/usr/local/bin に 5589f を作成し 5589-L36 から印刷を行います。
5589f には下記の設定を行います。

<例>: /usr/local/bin/5589f を作成し、下記の内容を記述します。

```
#!/bin/sh
/usr//bin/gs -q -dNOPAUSE -dBATCHE -sDEVICE=omni -sDeviceName=IBM_5589_L36
-sproperties="form=FORM_A4" -sOutputFile=- -
exit 0
```

*ドライバー指定、用紙設定につきましては[4. Filter の設定]をご参照ください。

3. 作成後、下記のコマンドで全ユーザーに実行権限を与えます。

```
# chmod a+x /usr/local/bin/5589f
```

4. 次に/etc/printcap に下記の設定を行い、Filter を「if」に定義します。

[LAN 接続の場合]

```
omni5589: \ <--- 任意のプリンター名
:ml=0: \
:mx=0: \
:sd=/var/spool/lpd/omni5589: \
:af=/var/spool/lpd/omni5589/omni5589.acct: \
:sh: \
:rm=プリンター名(IP アドレス): \
:rp=lpt1(各プリンターのキュー名): \
:if=/usr/local/bin/5589f: <--- Filter を定義
```

[パラレル接続の場合]

```
omni5589: \
:ml=0: \
:mx=0: \
:sd=/var/spool/lpd/omni5589: \
:af=/var/spool/lpd/omni5589/omni5589.acct: \
:sh: \
:lp=/dev/lp0: \
:if=/usr/local/bin/5589f:
```

5. 設定後、下記のコマンドで lpd を再起動します。

```
# /etc/init.d/lpd restart
```

3.2 印刷方法

Linux 上に存在する PostScript(ps) ファイルを lpr コマンドでプリンターに送信します。

```
# lpr -P Omni5589 /usr/share/ghostscript/7.05/examples/tiger.ps
```

上記コマンドより、5589-L36 からグラフィック(虎の顔)が印刷されます。

=====

4. Filter の設定

4.1 プリンター・ドライバーの選択

Filter 内の -sDeviceName オプションでプリンターを指定します。

-sDeviceName=IBM_5183_Portable_Printer	5183 Portable Printer 指定
-sDeviceName=IBM_5577_H02	5577-H02 指定
-sDeviceName=IBM_5584_G02	5584-G02 指定
-sDeviceName=IBM_5584_H02	5584-H02 指定
-sDeviceName=IBM_5584_K02	5584-K02 指定
-sDeviceName=IBM_5584_K14	5584-K14 指定
-sDeviceName=IBM_5585_H01	5585-H01 指定
-sDeviceName=IBM_5586_H02	5586-H02 指定
-sDeviceName=IBM_5587_H01/G01	5587-H01/G01 指定
-sDeviceName=IBM_5587_K02	5587-K02 指定
-sDeviceName=IBM_5587_L02	5587-L20 指定
-sDeviceName=IBM_5588_H02	5588-H02 指定
-sDeviceName=IBM_5589_H01	5589-H01 指定
-sDeviceName=IBM_5589_K20	5589-K20 指定
-sDeviceName=IBM_5589_L36	5589-L36 指定

-sDeviceName=IBM_Infoprint_20	InfoPrint20 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_2085	InfoPrint2085 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_21	InfoPrint21 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_2105	InfoPrint2105 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_32	InfoPrint32 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_40	InfoPrint40 指定
-sDeviceName=IBM_Infoprint_70	InfoPrint70 指定
-sDeviceName=IBM_Network_Printer_12	NetWorkPrinter12 指定
-sDeviceName=IBM_Network_Printer_17	NetWorkPrinter17 指定
-sDeviceName=IBM_Network_Printer_24	NetWorkPrinter24 指定

4.2 用紙サイズの設定

Filter 内で使用している -sproperties オプションで用紙サイズを指定します。
用紙サイズは、指定したプリンターの印刷範囲内でご利用ください。
代表的な用紙サイズの記述例を記します。

-sproperties="form=FORM_A3"	A3 サイズ
-sproperties="form=FORM_A4"	A4 サイズ
-sproperties="form=FORM_A5"	A5 サイズ
-sproperties="form=FORM_JIS_B4"	B4 サイズ

-sproperties="form=FORM_JIS_B5"	B5 サイズ
-sproperties="form=FORM_LEGAL"	リーガルサイズ
-sproperties="form=FORM_LETTR"	レターサイズ
-sproperties="form=FORM_HAGAKI_CARD"	ハガキサイズ
-sproperties="form=FORM_15_X_11"	15x11 インチ連続用紙サイズ

=====
(END)

.